

平成25年度 屋代南高等学校評価表(最終)

学校教育目標		重点目標(中・長期的目標)	総合評価		評価	
<p>校訓:誠実と自発 誠実とは人間形成の基本的要素である。真理を愛し、自らを律し、他を尊敬する豊かな人間性もまたこの誠実に基づくものであることを思い、これを培うことに努力する。</p> <p>人間の尊厳は創造にある。創造性の源泉はまた自発にある。自発的であってこそ真に自立的な活動が営まれる。これにより、学芸の研究、道徳の実践、社会活動等はおのずから生気を帯び、活気に満ちた行動となって現れる。平和で幸福な未来を創造していくべき高校生にとって、この自発の精神こそは欠くことのできないものであることを自覚させ、これを助長するよう努力する。</p> <p>教育方針:①一人ひとりを尊重する教育を実践する ②自主性を重んじ個性の伸長を図る ③豊かな情操と自立の精神を育てる ④地域との連携を深め、郷土を愛する心を育てる</p>		<p>地域と連携した教育活動を通じて、確かな学力と基本的な生活習慣を身につけ、豊かな心を持った生徒を育てる。</p>	<p>最近の本校の様子を見ると、中途退学者や問題行動は減少し、学校全体が落ち着いた雰囲気になってきている。また地域や保護者からも徐々に評価されてきている。生徒会を中心に地域行事へも積極的に参加し、地域との連携も進んでいる。昨年度及び今年度の就職内定率もよかった。今後さらにキャリア教育を進め、生徒の自主活動を育成し、卒業後の進路を充実したものにし、地域からさらに信頼される学校づくりを目指していく必要がある。</p>		B	
		今年度の重点目標	評価(成果と課題)		評価	
		<p>基礎学力の充実に力点を置いた学習指導を展開し、健全な職業観の育成と個別の希望進路実現をめざした、きめ細やかな進路指導を行なう。</p>	<p>本校生徒の基礎学力向上が課題の一つである。その問題を克服すべく各教科で努力がなされている。各種検定試験にも挑戦させている。生活指導面においては、過去と比べると、問題行動は減少している。学校全般に、落ち着いた雰囲気になってきている。少人数学級編成によって、きめ細やかな学習・生活指導を行なうことができている。成績不振者指導などもあり、学業不振による中途退学者は減少している。生徒会を中心とした地域連携も進み、地域からの評価もよくなってきている。インターンシップへの学校全体での取り組みの結果、参加生徒数は過去に比べ大きく増加した。今後もキャリア教育を推進し、早期から進路学習を行うことで生徒一人ひとりが主体的に進路を考え、意欲的に学習に取り組み、卒業後の進路実現に結びつけられるように援助していく必要がある。クラブ活動の活性化にも継続して取り組んでいく必要がある。</p>		B	
		<p>校内外の生活指導を通じて生徒の規範意識を涵養するとともに、人権意識を高め、いじめ・体罰のない安全で安心な学習環境を整える。また特別な支援を要する生徒に対する指導体制を充実させる。</p>				
		<p>生徒会活動やクラブ活動の活性化をはかり、地域から愛され、信頼される学校づくりをめざす。</p>				
領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	改善策・向上策	評価
教育活動	教育課程	教育課程の研究および改善	<p>・科目選択のガイダンス指導は適切にできたか。</p> <p>・選択科目の適正な配置等によって、生徒の多様な進路希望にも対応した教育課程の改善を実行できたか。</p> <p>・進路意識を高める総合学習になるよう研究・実践できたか。</p>	<p>・進路希望に対応した選択科目を設置し、選択ガイダンスを実施した。</p> <p>希望調査を実施したが、講座の人数差が大きく調整に苦慮した。</p> <p>・総合学習については、内容を含め、まだまだ検討の余地がある。</p>	<p>・総合学習については、来年度各学年が1単位にそろうので、一定期間経過後に、内容についての見直しが必要と思われる。</p>	B
		基礎基本の定着	<p>普通科少人数学級編成授業や3年次の選択科目など、少人数講座の利点を生かして「わかる授業」を展開することができたか。特に1年次において、学び直しの学習活動を取り入れることができたか。</p>	<p>少人数学級や選択科目の少人数講座で生徒に細やかに対応し、学力向上に努めることができた。また各教科で基礎基本の定着に向けて努力することができた。10月～11月に授業アンケートを実施し、教科指導の参考とした。</p>	<p>本年度同様に少人数講座を設定し、その利点を生かした「わかる授業」を展開していきたい。学び直し学習を継続し、さらなる基礎基本の定着を目指す必要がある。学習に対して興味関心が持てるような授業を目指したい。</p>	B
	学習指導	授業態度改善指導の徹底	<p>遅刻・中抜けの防止、授業中の私語、携帯の使用、授業に不要なもの持ち込み禁止などの指導を徹底して、学習に臨むにふさわしい態度を身に付けさせることができたか。</p>	<p>全体への事前指導や個別指導により、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている。授業中における携帯電話の不使用についても、継続して徹底できた。</p>	<p>来年度も引き続き、情報の共有により、生徒一人ひとりが落ち着いて授業に取り組める環境を整備していくことが重要である。生活指導係の協力を得て進めたい。</p>	B
		個に応じた指導の充実	<p>学習進度の遅い生徒に対する補充的な指導を行うことができたか。また進路希望実現のために個別指導を実施することができたか。</p>	<p>生徒それぞれの学習状況や進路に応じて、補習や個別指導を行い、学力の定着・向上及び進路実現に向けて取り組むことができた。</p>	<p>今年度個別におこなわれていた補習・面談の状況を総括し、来年度も継続する。また進路実現のための個々の状況に即した指導をより充実したものにする必要がある。</p>	B
		学習目標と授業計画の周知	<p>すべての授業でシラバスを作成し、生徒や保護者に学習目標や授業計画を示すことができたか。</p>	<p>各教科科目でシラバスを作成し、生徒保護者に配布し、学習目標や授業計画を示した。</p>	<p>来年度もシラバスを作成、配布し、生徒保護者が全ての教科、科目で学習計画が確認できるようにしていく。</p>	B
	進路指導	健全な職業観の育成と進路意識の高揚	<p>健全な職業観育成のためインターンシップに積極的に取り組ませることや、進路講話・説明会の開催により、早い時期から生徒の進路意識を高揚させることができたか。</p>	<p>2年次のインターンシップは全員参加が定着した。また、総合的な学習の時間では教材を工夫し充実させ、生徒の興味関心を高め進路意識の高揚につなげることができた。</p>	<p>総合的な学習を軸とした体系的なキャリア教育の確立をめざす。</p>	A
		多様な進路希望の実現	<p>3年間を見通した進路指導計画を作成し、一人一人の希望進路実現に向けてきめ細かく支援することができたか。</p>	<p>個人面談を中心にして一人ひとりの進路希望に沿った支援を行った。また、自立支援コーディネーター等外部機関の協力を得ながら進めることができた。定期考査前には学習室、夏季休業中には3年生を対象に試験対策講座を行った。</p>	<p>進路実現のために幅広い支援を継続、提案していきたい。</p>	B
		進路指導における校内連携および保護者との連携の強化	<p>係・学年にとどまらない全校職員による進路指導体制を確立し、保護者に対しても情報提供、個別懇談や相談を行う機会を設けることができたか。</p>	<p>インターンシップでは全職員の協力のもと準備が進められている。就職希望者との保護者懇談会に同席し情報を共有した。PTA総会等の場で進路係からの情報を発信した。</p>	<p>保護者に向けて進路係からの情報を積極的に発信していきたい。</p>	B

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	改善策・向上策	評価		
教育活動	生徒指導	暴力・いじめを許さない指導の徹底	2	入学時の指導や様々な集会・講演会、HR指導などを通じて、暴力・いじめを未然に防ぐ指導が徹底できたか。	いじめには発展しなかったが、悪ふざけにより同級生に怪我を負わせてしまう事案が発生してしまった。また、LINE・ツイッターなどでの誹謗中傷めいたことが起こってしまった。	本年度同様、いじめに関する講演会を新入生を中心に開き、さらに、学期ごとの「いじめアンケート」を実施し、予防、早期発見に努めていきたい。	B	
		交通安全指導の徹底	2	交通安全講習会、自転車点検、HR指導などを通じて、いのちの大切さと交通安全に対する意識を高めることができたか。	交通安全教室・自転車点検をそれぞれ2回ずつ行ったが、残念ながら自損事故・車との衝突が多少ではあるが起きてしまった。幸い軽症ですんでいる。	例年行う2回の交通安全教室をさらに増やしていきたい。さらに、自転車の技能を高める講習も研究していきたい。	B	
		校内外における生徒の規範意識涵養	1 2	校内巡視・学校生活態度改善カード活用で、生徒の授業に取り組む姿勢を向上させることができたか、また、校外巡回指導により、駅・列車内・通学路での生徒のマナー向上が実現できたか。	例年に比べて、授業改善を促すカードが少なくなった。また、学校周辺からの苦情はほとんどなくなった。さらに、年に数回しなの鉄道に乗り、車内巡視を行った。	本年度同様、校内外・屋代駅の巡視、列車に乗っての駅頭補導などを行い、予防に努める。	B	
		多様な悩みやトラブルを抱えた生徒に対する相談・支援体制の充実	2	係・学年の連携のもとでスクールカウンセラーや支援員などを有効に活用して、生徒や保護者に適切な支援と指導を行うことができたか。	最近では生徒本人だけではなく、その保護者にもカウンセリングを実施している。	生徒・保護者に対するカウンセリングをさらに充実させていきたい。	A	
	生徒の自主活動	〔生徒会活動〕 生徒が主体的に活動するための適切な助言と指導	3	・適切な助言、指導を行い、生徒会行事の充実や日常的な活動を発展させることができたか。	新たな桜苑祭の取り組みをはじめとする校内行事はもちろんのこと、商店街の催しや多くの地域行事に生徒が積極的に参加し、充実した活動を行っている。	引き続き執行部が中心となり、各委員会との連携を密にし、仕事を協力して行う。今後も一斉委員会の充実を図りながら、一般生徒の委員会の一員としての所属意識を高めたい。	A	
		〔クラブ活動〕 クラブ活動の活性化	3	クラブ活動加入者を増やし、生徒の自主的な活動に適切な指導ができたか。	クラブオリエンテーションや2日間にわたる新入生全員対象の体験入部等を行うなど、クラブ加入率の向上に向けて努力を行った。またクラブの整理統合を行うことによって、クラブ活性化に努めることが出来た。	クラブ説明会の充実を今後も図り、新入生のクラブへの加入を引き続き呼びかけていきたい。	B	
	学校運営	開かれた学校づくり	地域との連携	3	生徒会活動を中心に地域の諸行事に積極的に参加することができたか。	地域との交流を通して本校に対する理解は深まってきた。	生徒会を中心に、今後も地域の活動に積極的に取り組んでいきたい。	A
				1 2 3	地域の教育力を様々な場面で活用することができたか。	地域活動を通して生徒の自己有用感、自尊心を高めることができた。	ライフデザイン科では、地域の方を指導者として学校に招き、生徒の学習活動に貢献していただいており、継続的にいきたい。	B
保護者・地域への情報提供			1 2 3	HPや地域回覧板を通じて、本校の活動に関する情報をわかりやすく提供しているか。	本校の最新の情報を発信するように努めている。	今後もHPを頻繁に更新し、見やすく新しい内容にしていく。	B	
学校評価活動の充実			1 2 3	保護者・地域による評価(学校関係者評価)を有効に活用し、学校評価活動を充実させることができたか。	12月に保護者アンケートを実施した。また2月27日の第3回学校評議員会で、学校評議員の皆さんに学校評価をしていただくことになっている。	学校評議員の評価や、保護者アンケートその他のアンケートの中で出された課題に、さらに取り組んでいく(基礎学力の向上、進路実現、クラブの活性化など)。	B	
校内研修		校内研修の定期的な実施および研修計画の立案		各係、委員会等の課題を受けて、的確な研修を企画できたか。	7月30日に職員研修会を行い、本校の問題点について話し合うことが出来た。	引き続き来年度も職員研修会を行い、諸問題を話し合い、本校の学校教育改善に努めたい。	B	
		学習指導に関わる研修	1	授業改善や学習指導の充実のための研修会や公開授業・研究授業を実施できたか。	11月1日の公開授業週間で、全ての授業を公開した。また同時に初任者の研究授業も公開した。	今後も公開授業等で職員間での交流や研修を深め、授業改善に努力する必要がある。	B	
		生徒指導に関わる研修	2	生徒の多様な悩みや問題行動に対処できるような、生活指導・生徒理解の研修会を実施できたか。	携帯電話の危険性に関する研修会を外部講師を招き実施できた。	来年度も、先生方のニーズにあった内容で、夏休みあたりの早い段階に生徒指導に関する研修を企画していきたい。	B	
安全管理		施設設備の整備	2	生徒が落ち着いて学べ、生き生きと活動できる学習環境が整備されているか。	8月にPTAと合同で校内安全点検を行い、学習環境の改善について検討した。10月には、グラウンドの草取りも行い学校整備に努めた。	清美係が中心になって、学校の美化が進んだ。今後は教室の整備が更に必要である。学校設備全般に老朽化が目立つ。できるところから施設設備の整備に努めたい。	B	
	生徒の安全を守るための、教職員の人権意識の再確認	2	生徒に寄り添った指導を心がけ、体罰など生徒の人権を侵害する行為の防止につとめたか	職員一人ひとりが、生徒の人権を十分に意識して生徒指導を行っている。そのため、生徒の人権を侵害する行為はなかった。	引き続き生徒に寄り添った指導を心がけていく必要がある。	A		
	校内の危機管理体制の確立	2	緊急時対応の方策や防災計画を整備し、不測の事態に動揺しない校内体制が確立できたか。	緊急連絡体制を再度確認、整備した。	引き続き緊急連絡体制の充実に努めたい。	A		

評価基準：A=十分達成できた、B=大体達成できた、C=不十分である